

放課後児童健全育成事業 事故報告様式 (Ver.2) *水色枠内はプルダウンメニューから選択してください 【別紙1】

事故報告日			報告回数								
自治体名			事業所名								
所在地			事業開始年月日								
設置者 (社名・法人名・自治体名等)			事業者								
登録児童数	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	計				
放課後児童支援員等数			名			うち補助員数			名		
うち放課後児童支援員数			名								
クラブの実施場所			学校の余裕教室・ 学校敷地内専用施設・ 児童館・ その他()								
建物その他の設備の規模および構造			専用区画	m ²	1人当たり	m ²	その他	m ²	合計	m ²	
			建物の構造:			造			建物の階数:		
発生時の体制			児童数	名	放課後児童支援員等数	名	うち放課後児童支援員数	名			
事故発生日			事故発生時間帯								
児童の年齢	学年		利用開始年月日								
児童の性別			事故誘因								
事故の転帰			(負傷の場合) 負傷状況								
(死亡の場合) 死因			(負傷の場合) 受傷部位								
病状・死因等 (既往歴)			【診断名】								
			【病状】								
			【既往症】			病院名					
特記事項 (事故と因子関係がある場合に、身長、体重、既往歴、持病、アレルギー、発育・発達状況、発生時の天候等を記載)											
発生場所											
発生時状況											
発生状況 (当日来所時からの健康状況、発生後の処置を含め、可能な限り詳細に記入。第1報においては可能な範囲で記入し、2報以降で修正すること)											
当該事故に特徴的な事項											
発生後の対応 (報道発表を行う(行った)場合にはその予定(実績)を含む)											

第1報は赤枠内について報告してください。第1報は原則事故発生日(遅くとも事故発生翌日)、第2報は原則1か月以内程度に行うとともに、状況の変化や必要に応じて追加報告してください。また、事故発生の要因分析や検証等の結果については、でき次第報告してください。
 第2報報告に当たっては、記載内容について保護者の了解を得た後に、各自治体へ報告してください。
 記載欄は適宜広げて記載してください。
 直近の指導監査の状況報告を添付してください。
 発生時の状況図(写真等を含む。)を添付してください。なお、遊具等の器具により発生した場合には、当該器具のメーカー名、製品名、型式、構造等についても記載してください。

放課後児童健全育成事業 事故報告様式【事故再発防止に資する要因分析】

要因	分析項目	記載欄【選択肢の具体的内容を記載】
ソフト面 (マニュアル、研修、職員配置等)	事故予防マニュアルの有無	(具体的内容記載欄)
	事故予防に関する研修	実施頻度()回/年 (具体的内容記載欄)
	職員配置	(具体的内容記載欄)
	その他考えられる要因・分析、特記事項	
	改善策【必須】	
ハード面 (施設、設備等)	施設の安全点検	実施頻度()回/年 (具体的内容記載欄)
	遊具の安全点検	実施頻度()回/年 (具体的内容記載欄)
	玩具の安全点検	実施頻度()回/年 (具体的内容記載欄)
	その他考えられる要因・分析、特記事項	
	改善策【必須】	
環境面 (育成支援の状況等)	育成支援の状況	
	その他考えられる要因・分析、特記事項	
	改善策【必須】	
人的面 (放課後児童支援員等の状況)	対象児の動き	(具体的内容記載欄)
	担当職員の動き	(具体的内容記載欄)
	他の職員の動き	(具体的内容記載欄)
	その他考えられる要因・分析、特記事項	
	改善策【必須】	
その他	その他考えられる要因・分析、特記事項	
	改善策【必須】	
【所管自治体必須記載欄】 事故発生の際の要因分析に係る自治体コメント 事業所(者)は記載しないでください。		

(事故報告様式送付先)

厚生労働省子ども家庭局 保育課(子育て支援課) 健全育成推進室 (FAX:03-3595-2749)

(こちらへも報告してください)

消費者庁消費者安全課 (FAX:03-3507-9290)

放課後児童健全育成事業 事故報告様式 (Ver.2) *水色枠内はプルダウンメニューから選択してください【別紙1】

事故報告日				報告回数				
自治体名	県 市 (必ず都道府県名を入れてください)			事業所名	放課後児童クラブ			
所在地	市 1 - 1 - 1			事業開始年月日	平成 年 月 日			
設置者 (社名・法人名・自治体名等)	会			事業者	会			
登録児童数	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	計	
放課後児童支援員等数	名			うち補助員数	名			
うち放課後児童支援員数	名							
クラブの実施場所	学校の余裕教室・学校敷地内専用施設・児童館・その他()							
建物その他の設備の規模および構造	専用区画	m ²	1人当たり	m ²	その他	m ²	合計	m ²
	建物の構造:鉄筋コンクリート造				建物の階数: 3階建の 1階			
発生時の体制	児童数	30名		放課後児童支援員等数	名	うち放課後児童支援員数	名	
事故発生日				事故発生時間帯				
児童の年齢	学年				利用開始年月日			
児童の性別				事故誘因				
事故の転帰				(負傷の場合)負傷状況				
(死亡の場合)死因				(負傷の場合)受傷部位				
病状・死因等 (既往歴)	【診断名】	後頭部打撲傷						
	【病状】	-						
	【既往症】	特になし			病院名	病院		
特記事項 (事故と因子関係がある場合に、身長、体重、既往歴・持病・アレルギー、発育・発達状況、発生時の天候等を記載)	事故と因子関係がある場合の、当該児童の教育・保育において留意が必要な事項(気管切開による吸引等の医療行為、経過観察中の疾病名等)についても、この特記事項へ記載してください							
発生場所								
発生時状況								
発生状況 (当日来所時からの健康状況、発生後の処置を含め、可能な限り詳細に記入。第1報においては可能な範囲で記入し、2報以降で修正すること)	<p>(記載例)</p> <p>7:30 授業終了後、学校から徒歩にて来所(健康状態等に普段と変わった点は無し)</p> <p>14:45 クラブ室内で他の児童とともに宿題に取り組む</p> <p>15:30 おやつ</p> <p>16:00 建物外園庭にて、集団遊び(鬼ごっこ、ドッチボール等)</p> <p>16:30 各々好きな遊びを開始(当該児童は当初砂場で遊んでいた) 支援員1人が全体の見守りを実施</p> <p>16:35 他の児童2人と一緒に滑り台で遊んでいたところ、滑り台階段最上段(地上 m)より転落(目撃児童による証言) 支援員は周りの児童の叫び声を聞き、児童が地面に横たわっているところを発見。救急車を呼びながら、児童の意識等を確認(児童の反応無し)</p> <p>16:45 保護者へ連絡救急車到着。支援員 が同乗し、 市 病院へ搬送</p>							
当該事故に特徴的な事項	<p>(記載例)</p> <p>普段は全ての子どもが外遊びをするため、全ての放課後児童支援員が全体の見守りを実施しているが、この日は体調不良により、外遊びに参加しない子どもがいたため、見守りの体制が通常時に比べて手薄となった。</p>							
発生後の対応 (報道発表を行う(行った)場合にはその予定(実績)を含む)	<p>(記載例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日17時すぎ 警察による事情聴取 ・翌日11時～市が事故報告の記者会見実施予定(別紙公表資料参照) ・翌日17時～クラブにおいて保護者への説明会を実施予定 							

第1報は赤枠内について報告してください。第1報は原則事故発生当日(遅くとも事故発生翌日)、第2報は原則1か月以内程度に行うとともに、状況の変化や必要に応じて追加報告してください。また、事故発生の要因分析や検証等の結果については、でき次第報告してください。第2報報告に当たっては、記載内容について保護者の了解を得た後に、各自自治体へ報告してください。記載欄は適宜広げて記載してください。直近の指導監督の状況報告を添付してください。発生時の状況図(写真等を含む。)を添付してください。なお、遊具等の器具により発生した場合には、当該器具のメーカー名、製品名、型式、構造等についても記載してください。

放課後児童健全育成事業 事故報告様式【事故再発防止に資する要因分析】

要因	分析項目	記載欄【選択肢の具体的内容を記載】
ソフト面 (マニュアル、研修、職員配置等)	事故予防マニュアルの有無	(具体的内容記載欄) マニュアルや指針の名称を記載してください
	事故予防に関する研修	実施頻度()回/年 (具体的内容記載欄) 実施している場合は、研修内容・対象者・講師等も簡単に記載してください
	職員配置	(具体的内容記載欄) 事故発生時ではなく、事故発生当日の支援体制としての配置人数について記載してください
	その他考えられる要因・分析、特記事項	当該事故に関連する要因や特記がある場合、必ず記入してください
	改善策【必須】	要因分析の項目を記載した場合は必ず記載すること。改善点がない場合もその理由を記載してください
ハード面 (施設、設備等)	施設の安全点検	実施頻度()回/年 (具体的内容記載欄) 具体的方法等を記載してください。
	遊具の安全点検	実施頻度()回/年 (具体的内容記載欄) 具体的方法等を記載してください。また、遊具等の器具により事故が発生した場合には、当該器具のメーカー名、製品名、型式、構造等についても記載してください。
	玩具の安全点検	実施頻度()回/年 (具体的内容記載欄) 具体的方法等を記載してください。また、玩具等の器具により事故が発生した場合には、当該器具のメーカー名、製品名、型式、構造等についても記載してください。
	その他考えられる要因・分析、特記事項	分析も含めた特記事項等、当該事故に関連することを記入してください。
	改善策【必須】	要因分析の項目を記載した場合は必ず記載すること。改善点がない場合はその理由を記載してください
環境面 (育成支援の状況等)	育成支援の状況	雨上がり直後の外遊びで遊具が濡れており、各々好きな遊びをして支援員が見守っていた等、具体的な育成支援の状況を記載してください
	その他考えられる要因・分析、特記事項	分析も含めた特記事項等、当該事故に関連することを記入してください。
	改善策【必須】	要因分析の項目を記載した場合は必ず記載すること。改善点がない場合はその理由を記載してください
人的面 (放課後児童支援員等の状況)	対象児の動き	(具体的内容記載欄) なぜそのような行動をとったのかを明らかにするため、具体的な記載してください(例:朝、母親より風邪気味と申し送りあり、いつもは外遊びをするが室内で遊んでいた等)
	担当職員の動き	(具体的内容記載欄) なぜそのような対応をしたのかを明らかにするため、具体的な記載してください(例:雲梯の反対側で対象児ともう一人の児童を見ていたが、対象児が落下する瞬間に手を差し伸べたが間に合わなかった等)
	他の職員の動き	(具体的内容記載欄) なぜそのような対応をしたのかを明らかにするため、具体的な記載をしてください(例:他児のトラブルに対応していたため見ていなかった等)
	その他考えられる要因・分析、特記事項	分析も含めた特記事項等、当該事故に関連することを記入してください。
	改善策【必須】	要因分析の項目を記載した場合は必ず記載すること。改善点がない場合はその理由を記載してください
その他	その他考えられる要因・分析、特記事項	分析も含めた特記事項等、当該事故に関連することを記入してください。
	改善策【必須】	要因分析の項目を記載した場合は必ず記載すること。改善点がない場合はその理由を記載してください
【所管自治体必須記載欄】 事故発生の要因分析に係る自治体コメント 事業所(者)は記載しないでください。		自治体の立ち入り検査や第三者評価の結果、勧告や改善命令などの履歴があるかどうか、その結果や改善勧告への対応、今後の研修計画等あればその内容等、所管自治体として把握していること、取り組んでいることも含めて記載してください

【事故報告様式送付先】

厚生労働省子ども家庭局 保育課(子育て支援課)健全育成推進室(FAX:03-3595-2749)

(こちらへも報告してください)

消費者庁消費者安全課 (FAX:03-3507-9290)

ブルダウンメニュー別表 (水色のセルには以下の選択肢から選んだものを記載してください)

項目	以下の中から選択してください
事故発生時期	1月～12月
事故発生時間帯	1.朝(～午前10時頃) 2.午前中 3.昼食時 4.おやつ時 5.午後 6.夕方(16時頃～) 7.夜間(19時頃～)
子どもの年齢	1.6歳 2.7歳 3.8歳 4.9歳 5.10歳 6.11歳 7.12歳 8.その他
クラス(学年)	1.1年生 2.2年生 3.3年生 4.4年生 5.5年生 6.6年生 7.その他
子どもの性別	1.男児 2.女児
事故の転帰	1.負傷 2.死亡
死因	0.負傷 1.窒息 2.病死 3.溺死 4.アナフィラキシーショック 5.その他
事故誘因	0.死亡 1.遊具等からの転落・落下 2.自らの転倒・衝突によるもの 3.子ども同士の衝突によるもの 4.玩具・遊具等施設・設備の安全上の不備によるもの 5.他児から危害を加えられたもの 6.アナフィラキシーによるもの 7.溺水によるもの 8.その他
負傷状況	0.死亡 1.意識不明 2.骨折 3.火傷 4.創傷(切創・裂創等) 5.口腔内受傷 6.その他
受傷部位	0.死亡 1.頭部 2.顔面(口腔内含む) 3.体幹(首・胸部・腹部・臀部) 4.上肢(腕・手・手指) 5.下肢(足・足指)
発生場所	1.施設敷地内(室内) 2.施設敷地内(室外・園庭・校庭等) 3.施設敷地外(公園等)
発生時状況	1.屋外活動中 2.室内活動中 3.食事中(おやつ含む) 4.水遊び・プール活動中 5.来所・帰宅中 6.その他
事故予防マニュアルの有無	1.あり 2.なし
事故予防に関する研修	1.定期的実施 2.不定期実施 3.未実施
職員配置	1.基準以上配置 2.基準配置 3.基準以下
施設の安全点検	1.定期的実施 2.不定期実施 3.未実施
遊具の安全点検	1.定期的実施 2.不定期実施 3.未実施
玩具の安全点検	1.定期的実施 2.不定期実施 3.未実施
育成支援の状況	1.集団活動中・見守りあり 2.集団活動中・子どもたちのみ 3.個人活動中・見守りあり 4.個人活動中・子どものみ 5.食事(おやつ)中 6.その他
対象児の動き	1.いつもどおりの様子であった 2.いつもより元気がなかった(その理由:記載) 3.いつもより活発・活動的であった(その理由:記載) 4.具合が悪かった(熱発・腹痛等理由を記載)
担当職員の動き	1.対象児とマンツーマンの状態(対象児に接していた) 2.対象児の至近で対象児を見ていた 3.対象児から離れたところで対象児を見ていた 4.対象児の動きを見ていなかった
他の職員の動き	1.担当者・対象児の動きを見ていた(至近距離にいた) 2.担当者・対象児の動きを見ていなかった